

## 1 件名

ワガドゥグとボボデュラッソ間における誘拐のリスクについて

## 2 ポイント

- 6月8日、ボロモで発生した警察の検問所襲撃にイスラム過激派組織のマシナ解放戦線が関係しているとの情報あり。
- ワガドゥグとボボデュラッソ間の道路で外国人の誘拐発生が懸念。
- 可能な限り移動は控え、十分な安全対策を。

## 3 本文

- (1) 6月8日早朝、ワガドゥグとボボデュラッソの中間に位置するボロモにおいて、大量の武器を所持した武装集団が検問中の警察に発砲する事件が発生しました。情報によると、本件にはアルカイダ系のイスラム過激派組織であるマシナ解放戦線のテロリストが関わっていると見られています。
- (2) マシナ解放戦線は、ブルキナファソ南西部等に勢力が浸透していると言われ、5月上旬にベナン北部で発生したフランス人の誘拐事件にも関連が疑われており、今後外国人を標的とした誘拐事件がワガドゥグとボボデュラッソ間で発生することが懸念されます。
- (3) 皆様におかれましては、可能な限りワガドゥグとボボデュラッソ間の陸路による移動を控え、移動が必要である場合には夜間及び単独での移動は極力避けるなど十分な安全対策をお願いします。

在ブルキナファソ日本国大使館

電話:(+226) 25 37 65 06/09